



森の京都「なんたん」カレッジ

令和3年度 公開講座

平成28年3月に指定を受けた「京都丹波高原国定公園」には、南丹市の美山町、日吉町、八木町の一部、さらには希少動植物の宝庫である京都大学芦生研究林が含まれています。

「植物ヲ學ブモノハ一度ハ京大ノ芦生演習林ヲ見ルベシ(植物学者中井猛之進博士)

そう評された芦生研究林について、また国定公園内の歴史や伝統文化に触れ、学びを深めてみませんか。

11/7(日) 会場 南丹市国際交流会館

13:30 芦生の森からの恵み

講師 京都大学フィールド科学教育研究センター
芦生研究林 林長 石原 正恵

14:00 芦生の森 -過去・現在・未来を創造する-

講師 画家 平田 有加

講演後 南丹市立文化博物館
芦生研究林 100周年記念・令和3年度秋季特別展
「Ashiu 森と共に生きる -知井地区を中心に-」において
講師によるギャラリートークを行います。

11/13(土) 会場 南丹市国際交流会館

13:30 美山の火祭り-上げ松-

講師 佛教大学 歴史学部 教授 八木 透

定員 各日 50名、要申込・先着順

参加費 各日 一般 300円(南丹市立文化博物館入館料が含まれています)
高校生以下無料

申込・問合せ先 森の京都「なんたん」エコミュージアム推進事業
森の京都「なんたん」カレッジ事務局
(南丹市国際交流会館 南丹市園部町小桜町62-1)
電話: 0771-63-1777 (9:00~17:00、月曜・祝日休み)
E-mail: sictv@sic.cans.ne.jp

主催 森の京都「なんたん」エコミュージアム実行委員会

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、会場受付での記名、検温、手指の消毒、会場内でのマスクの着用にご協力ください。新型コロナウイルス感染拡大状況によっては、急遽、予定が変更される場合があります。

森と共に生きる
京都丹波高原国定公園
〜生命のふるさとからの贈り物〜



.....ボランティアガイド.....

地域学芸員養成講座 受講生募集

南丹市では、文化庁の地域文化財総合活用推進事業として、人びとの生活や自然、文化遺産を保存・育成し、地域活性化や観光資源として活用する『森の京都「なんたん」エコミュージアム推進事業』を展開しています。第一線で活躍されている歴史研究者や大学教授などの講師陣を招き、南丹市の魅力を伝える案内人・語り部として活躍いただく方のための、地域学芸員養成講座を開催します。



令和3年度
テーマ

森と共に生きる京都丹波高原国定公園 ～生命のふるさとからの贈り物～

全6回

10/21(木)

10:30 京都丹波高原国定公園の取組み

(一社)南丹市美山観光まちづくり協会 事務局次長 青田 真樹

10/27(水)

10:30 北近畿の佛教勢力

大谷大学 文学部 史学科 准教授 川端 泰幸

13:00 木造阿弥陀如来及両脇侍坐像

同志社大学 文学部 教授 井上 一稔

11/1(月)

10:30 諏訪神社の祭礼・芸能

関西外国語大学 英語国際学部 教授 鶴島 三壽

11/11(木)

13:30 「北山型」民家・最古の遺構
「石田家住宅」

立命館大学 衣笠総合研究機構 教授 大場 修

11/17(水)

10:00 匠の技 美山のかやぶき

美山茅葺株式会社 代表取締役 中野 誠

11:00 美山町北伝建地区 美山かやぶきの里

京都府教育委員会 文化財保護課 福島 匠

13:00 フィールドワーク 美山かやぶきの里

11/26(金)

14:00 美山の建築文化
寺社を中心に(北八幡神社他)

大阪電気通信大学 工学部 教授 矢ヶ崎 善太郎

- 会場 京都丹波高原国定公園ビジターセンター他
- 定員 30名 (定員になり次第締切)
- 受講料 1回につき 1,000円 (資料代、昼食代含む) 当日、受付時にお支払いください
- 応募条件 18歳以上で故郷の歴史や文化に興味のある方。すべての講座を受講いただいた方には修了証書を交付し、ボランティアガイドとして登録させていただきます。興味のある講座だけの受講もOKです。
- 受講申込 電話またはE-mailで、住所、氏名、年齢、連絡先(電話・メールアドレス)、受講希望講座をご連絡ください。
- 申込締切 10月14日(木)
- 申込・問合せ 森の京都「なんたん」エコミュージアム推進事業 森の京都「なんたん」カレッジ事務局 (南丹市国際交流会館 南丹市園部町小椋町62-1)
電話: 0771-63-1777 (受付 9:00~17:00、月曜・祝日休み)
E-mail: sictv@sic.cans.ne.jp
- 主催 森の京都「なんたん」エコミュージアム実行委員会

